

## プラハ宣言アイヌ語版

北海道エスペラント連盟 横山裕之

プラハ宣言にあるように、エスペラントは、(少数)言語の権利や言語の多様性を支援できるものなので、この宣言を少数言語であるアイヌ語で表現し、プラハ宣言の意義を、アイヌ語を通じて知ってもらうこともある意味では重要なことだと思います。このアイヌ語版は、2007年に横浜で開催される世界エスペラント大会で公表したり、北海道エスペラント連盟のホームページに載せたり、世界エスペラント協会のライブラリーの登録したりして、世界中のエスペランティストへお知らせたいと思っています。

アイヌ語版については、アイヌ語新聞「アイヌタイムズ」の編集長である浜田隆史氏の全面的な協力をいただいております。参考までにアイヌ語から書き直した日本語訳をアイヌ語の下に載せました。

ここにあるものの他に、アイヌ語だけを載せ1ページにしたものも別に用意してます。これにはローマ字版とカタカナ版があります。カタカナ版の方はアイヌ語特有の小さなカタカナがあります。これは音節末の子音を示すもので日本語の音韻体系にはないものです。ちなみにアイヌ語音韻用のための小さなカタカナは、2000年のJISの改訂で採用になってますし、ユニコードでもバージョン3.2で採用になりました。MacOS Xでは標準で入力・表示が可能となっていて、バージョン10.3では標準の文字変換プロセッサ「ことえり」でアイヌ語モードが採用になりました。これによりアイヌ語ローマ字からアイヌ語カタカナに変換できるようになってます。Windowsでは時期バージョンVistaで標準で入力・表示が可能となります。また最近の動きとして、2005年8月16日にアイヌ語が言語名コード「ain」としてISO(国際標準化機構)に登録されました。これによりコンピュータの世界でアイヌ語の存在が明らかになりました。

(アイヌ語訳)

Puraha or ta ci=ye itak.

- usa mosir un utar ukoytak pa kuni a=kar itak "Esuperanto" makanak an ya ka, eci=nure p ne ruwe ne. -

プラハで私たちが言った言葉

- いろんな国の人たちが話し合うために作られた言葉「エスペラント」がどのようなものであるか、私たちがあなたたちに知らせるものです-

(日本語原訳)

国際語エスペラント運動に関するプラハ宣言

(アイヌ語訳)

oripak turano ne yakka ci=ye ruwe ne.

c=utari anakne, Esuperanto ye utar naa poronno an kuni, usa mosir ta usa okay pe  
ci=ki oasi hawe tapan na. te ta ci=ye hi usa mosir un seihu or un utar neya kokusaisosiki  
un utar neya opitta pirkano ci=nure ka ki, te ta ci=ye hi nen poka an ayneno an kuni  
c=arikiki ka ki kusu ne. rapok ta, usa oka utar c=utari turano arikiki wa un=kore kuni  
ci=nisuk kusu ne.

恐縮ですが申します。

私たちは、エスペラントを話す人たちがもっと増えるように、いろんな国でいろんな事をしようと思うのですよ。私たちは、ここで言うことをいろんな国の政府の人たちや国際組織の人たち全てにきちんと知らせることもします、ここで言うことが何とかそのままあるように一生懸命働くこともします。一方で、いろんな人たちが私たちと共に一生懸命働いてくれるように頼むつもりです。

(日本語原訳)

私たち、エスペラントの発展のための世界的な運動に加わる者たちは、この宣言をすべての政府、国際組織および良心ある人々に対して送り、ここに表明された目標に向けて私たちが不退転の決意をもって活動し続けることを宣言するとともに、それぞれの組織と個人とが私たちのこの努力に加わるよう呼びかける。

(アイヌ語訳)

Esuperanto anakne, 1887 pa ta a=kar itak ("a=numke easkay kuni itak") ne wa,  
newaanpe ani usa mosir un utar ukoytak easkay kuni a=ramu itak ne ruwe ne. okake ta,  
Esuperanto itak ipehe naa poronno pirkano oka wa, tane 1 seiki akkari utur ta, usa oka  
itak ye utar ka usa oka puri kor utar ka, ani etoko tuypa ka somo ki no ukoytak a ruwe ne.  
Esuperanto ye utar neno irawe hi anakne, tane ne yakka uneno an kuni ci=ramu. nen ne  
yakka oya itak ani wente ka somo ki no, pirkano ukoytak easkay kunine, sine itak or ta  
ci=ki rusuy hi ene oka hi; (newaanpe anakne, inan mosir un itak ne yakka wen kuni  
ci=ramu. te wano neun tûsingizyutu pirkano an yakka, neun itak epakasnu yakka wen  
nankor.)

エスペラントは、1887年に作られた言葉（「選ぶことのできる言葉」）であり、それによっていろんな国の人たちが互いに話し合う事ができるように考えられた言葉です。その後、エスペラントの言葉の意味はもっとたくさん良くなって、もう一世紀以上の間、いろんな言葉を言う人もいろんな文化を持つ人も、それによって邪魔されることなく話し合ってきました。エスペラント話者たちがそのように望んだことは、今でも同じだと私たちは思います。誰であっても（自分とは）別の言葉によって害されることなく、良く話し合いができるように、ある言葉において私たちが望むことは以下の通りです；（これは、どの国の言葉であってもいけないと私たちは思

います。これからどのように通信技術がよくなっても、どのように言葉を教えてもだめでしょう。)

(日本語原訳)

エスペラントは、1887年に国際的コミュニケーションのための補助言語案として提唱された後、生命力と表現力に富んだ言語へと速やかな発達を遂げ、すでに一世紀以上にわたって言語と文化の壁を越えて人々を結びつける働きを果たしてきた。エスペラントの使用者たちが目指してきた理想は今なお重要性と現代的意義を失っていない。私たちは公正で効果的な言語秩序のためには以下に述べる原則が必須であると考えているが、いずれかの民族語を世界語として使用しても、また今後いかに通信技術が進歩し、新しい言語教育法が開発されるにしても、これらの原則を実現することはできないであろう。

-----

(アイヌ語訳)

1. a=utari opitta uneno a=ye easkay kuni p

1. 私たちみんなが同じように言うことができるもの

sine mosir un itak ye kur epirka rapok ta, oya mosir un itak ye kur anak ne itak ponno ka erampewtek hi kusu esirkirap yak wen. pirka itak anakne, a=utari opitta uneno a=ye easkay kuni p ne ruwe ne. Esuperanto nep ka wen hi isam sektor anak somo ci=ye korka, newaanpe or ta iyotta pirka itak ne sektor yaynu=as.

ある国の言葉を使う人がそれで得をする一方、別の国の言葉を使う人がその言葉を全然知らないがために苦勞するならば良くありません。よい言葉とは、私たちみんなが同じように言うことができるものです。エスペラントが何も悪いところがないとは言いませんが、この点においては一番よい言葉であると私たちは考えます。

(日本語原訳)

1.民主性

あるコミュニケーションのしくみが、特定の人々には一生涯の特権を与える一方で、他の人々にはより低い段階の能力の獲得にさえ多年の努力をつぎ込むよう求めるなら、それは根本において反民主的なものである。エスペラントは、他の言語と同様に、完全ではないが、平等な全世界的コミュニケーションという領域では、どの競合する言語に比べてもはるかにまさっている。

言語の不平等は、国際レベルを含めたあらゆるレベルにおいて、コミュニケーションの不平等を生み出すものであると、私たちは主張する。私たちの運動は民主的なコミュニケーションを目指すものである。

-----

(アイヌ語訳)

2. a=utari opitta uneno a=eraman easkay kuni p

2. 私たちみんなが同じように勉強することができるもの

sine mosir un itak eraman rusuy pe anakne, ne mosir oruspe ka puri ka poronno eraman yak easir pirka. eigo eraman rusuy kur ne yakun, Amerika oruspe neya Igrisu oruspe neya pirkano eraman kuni p ne. rapok ta, Esuperanto sine mosir un itak ka somo ne kusu, neno an oruspe isam.

a=utari opitta uneno a=eraman easkay kuni p ne, sekor yaynu=as.

ある国の言葉を勉強したい者は、その国の話も文化もたくさん勉強しないとけません。英語を学びたい人なら、アメリカの話やイギリスの話をきちんと勉強することになります。一方、エスペラントはある国の言葉ではないので、そのような話はありません。

私たちみんなが同じように勉強することができるものである、と私たちは考えます。

(日本語原訳)

2. 民族性を超えた教育

民族語はそれぞれ特定の文化・国家と結びついている。例えば、英語を学習する生徒は英語圏の諸国、特にアメリカ合衆国とイギリスの文化・地理・政治について学ぶことになる。それに対してエスペラントを学習する生徒は、国境のない世界について学ぶのであって、そこではどの国も故国と見なされる。

いずれの民族語を用いた教育も特定の世界観に結びついていると、私たちは主張する。私たちの運動は民族性を超えた教育を目指すものである。

-----

(アイヌ語訳)

3. isaykano a=eraman easkay kuni p

3. 簡単に勉強することができるもの

oya mosir un itak hokampa p ne ruwe ne. neun a=epakasnu yakka erampewtek utar poronno oka nankor. rapok ta, Esuperanto isayka itak ne kusu, yaykata pirkano a=eraman easkay pe ne. oya mosir un itak a=epakasnu hi etoko ta, Esuperanto eraman yak pirka sekor ye utar ka oka.

Esuperanto isaykano a=eraman easkay kuni p ne sekor yaynu=as.

別の国の言葉は難しいものです。どんなに教わってもわからない人はたくさんいるでしょう。一方、エスペラントは簡単な言葉なので、ひとりできちんと学ぶことができるものです。別の国の言葉を教わる前に、エスペラントを知っていると良いと言う人たちもいます。

エスペラントは簡単に勉強することができるものである、と私たちは考えます。

(日本語原訳)

### 3.教育上の効果

外国語を学習する人の中で、それを習得できる人の割合はごく低い。それに対してエスペラントの習得は独習によっても可能であり、他の言語を学ぶための予備的学習としての効果についてもさまざまな研究報告がある。また、生徒の言語意識を高めるための教科においてエスペラントを中核に位置づけるよう勧める声もある。

民族語の学習は難しく、第二言語の知識があればそれによって益を受けるはずの多くの学習者にとって常に障害となり続けるであろうと、私たちは主張する。私たちの運動は効果的な言語教育を目指すものである。

-----

(アイヌ語訳)

### 4. yay-itak tup akkari a=eraman hi

#### 4. 自分の言葉を二つ以上勉強すること

Esuperanto ye utar opitta, neun poka yay-itak tup akkari eraman pe ne ruwe ne. utari ukoytak easkay kuni pakno oya itak eraman pe ne. iki ayne, ne kur pawetok kur ne wa, uwosuwas usa okay pe eraman nankor.

yay-itak tup akkari a=eraman yak pirka p ne. ne hi oro ta Esuperanto anakne iyotta pirka itak ne, sekor yaynu=as.

エスペラントを話す人は全て、どうにかして自分の言葉を二つ以上勉強した者です。その人たちは会話ができるまで別の言葉を勉強した者です。その結果、その人は雄弁な人になって、次々といろんなことを学ぶでしょう。

自分の言葉を二つ以上勉強すると良いものです。その時にエスペラントは最適な言葉である、と私たちは考えます。

(日本語原訳)

### 4.多言語性

エスペラントの共同体は、その構成員が例外なく二つ以上の言語を話すという、世界的規模の言語共同体としては数少ない例の一つである。構成員はそれぞれ、少なくとも一つの非母語を会話のできる程度まで学ぶことを自己に課している。多くの場合、このことは複数の言語に対する知識と愛着をもたらし、ひいてはその人の視野をより広くすることにつながっている。

どの言語の話し手にも、その言語の大小を問わず、コミュニケーションが可能な高い水準まで第二言語を習得する現実的な機会が与えられていてしかるべきだと、私たちは主張する。私たちの運動はその機会を提供するものである。

-----

(アイヌ語訳)

## 5. inan itak ne yakka a=eyam hi

### 5. どの言葉であっても大切にされること

usa oka mosir un utar anakne, kor itak sinna hi kusu a=okpare yak wen. Esuperanto ye utar or ta, inan itak ne yakka, hompok utar kor itak ne yakka, ney ta ye itak ne yakka, opitta a=eyam kuni p ne ruwe ne. ene yaynu=an yakne, kor itak sinna kusu a=i=okpare ka somo ki.

usa oka kampi ka ta "inan itak ka a=eyam pe ne" sekor a=nuye wa an korka, anpe anakne inne utar kor itak ye kur patek epirka wa an ruwe ne. Esuperanto an yak usa oka itak naa a=eyam, sekor yaynu=as.

いろんな国の人たちが、持つ言葉が違うということで冷遇されるのはよくないです。エスペラントを話す人たちの中では、どの言葉であっても、何人の人たちが持つ言葉であっても、どこで話す言葉であっても、すべて大切にされるべきものです。このように考えるならば、言葉が違うから冷遇されるということはありません。

いろんな紙の上に「どの言葉も尊重するものです」と書かれています。実際は多くの人たちの持つ言葉を言う人ばかりが得をしています。エスペラントがあればいろんな言葉がもっと尊重される、と私たちは考えます。

(日本語原訳)

## 5. 言語上の権利

言語間に力の不平等があることは、世界の大部分の人々にとって、言語的な危機感をもたらし、ときには直接の言語的抑圧となっている。エスペラントの共同体では、母語の大小や公用・非公用を問わず、互いの寛容の精神によって、中立の場集っている。このような言語における権利

と責任の間のバランスは、言語の不平等や紛争に対する新しい解決策を進展させ評価するための先例となるものである。

いずれの言語にも平等な取り扱いを保証する旨が多くの国際的文書に表明されているが、言語間の力の大きな格差はその保証を危うくするものであると、私たちは主張する。私たちの運動は言語上の権利の保証を目指すものである。

-----

(アイヌ語訳)

## 6. utar kor itak poronno an hi

### 6. 人々の持つ言葉がたくさんあること

usa oka mosir un seihi anakne, utar kor itak poronno an yak ukoysoytak=an niwkes kusu wen sekor yaynu nankor. korka, Esuperanto ye utar or ta, kor itak poronno an hi sino pirka ruwe ne. usa oka itak anakne sinep pishnokamuy koraci an pe ne wa, opitta a=eyam kuni p ne.

isaykano ukoysoytak=an easkay sekor a=ye kor, poronno an itak utar somo a=eyam kuni seisaku sanke yakun, itak poroser isam nankor. inne itak turano oka=as kuni Esuperanto un=kasuy wa un=kore, sekor yaynu=as.

いろんな国の政府は、人々の言葉がたくさんあると会話がしにくいからよくないと考えるかも知れません。しかし、エスペラントを話す人たちの中では、言葉がたくさんあることは本当に素晴らしいことです。いろんな言葉は、一つごとに神のようなもので、全て大切にされるべきものです。

簡単に会話できると言いながら、多くの言葉たちを大事にしないような政策を出すならば、言葉の大部分はなくなってしまうでしょう。多くの言葉とともにあるようにエスペラントは私たちを助けてくれる、と私たちは考えます。

(日本語原訳)

## 6. 言語の多様性

諸国の政府は往々にして世界における言語の多様性をコミュニケーションと社会発展にとっての障害とみなしがちである。しかし、エスペラントの共同体にとっては、言語の多様性は尽きることなく欠くことのできない豊かさの源泉である。したがって、それぞれの言語はあらゆる生物種と同様にそれ自身すでに価値があり、保護し維持するに値するものである。

もしコミュニケーションと発展に関する政策がすべての言語の尊重と支持に基礎を置くものでないならば、それは世界の大多数の言語に死を宣告するものであると、私たちは主張する。私たちの運動は言語の多様性を目指すものである。

-----

(アイヌ語訳)

## 7. nen ne yakka somo esirkirap no ye easkay hi

### 7. 誰もが悩まずに話せること

inan itak ne yakka, eraman utar anak ukoysoytak easkay korka, erampewtek utar anak eaykap. newaanpe ewen utar ka poronno an. Esuperanto anakne, inan mosir ta ne yakka a=ye easkay kuni a=kar pe ne wa, nen ne yakka kor itak ka kor puri ka somo osurpa no ukoysoytak easkay ruwe ne. tapne kane, a=utari anakne "zinrui uwekarpa" or un iyorot=an easkay ruwe ne.

ne uwekarpa or ta, sine mosir or ta a=ye itak tup ka rep ka ani patek ukoysoytak=an yak wen. Esuperanto ani, nen ne yakka somo esirkirap noukoysoytak easkay, sekor yaynu=as.

どんな言葉でも、理解している人は会話ができますが、していない人はできません。それで損をしている人たちもたくさんいます。エスペラントは、どの国でも話せるように作られたもので、誰もが自分の持つ言葉や文化を棄てずに話すことができます。このようにして、私たちみんなは「人類の集まり」の中に参加することができるのです。

その集まりにおいて、ある国で話されている二つか三つかの言葉だけで会話をするのはよくありません。エスペラントによって誰もが悩まずに会話することができる、と私たちは考えます。

(日本語原訳)

## 7.人間の解放

いかなる言語も、その使用者間のコミュニケーションを可能にすることによって人々を自由にしている一方で、他の人々とのコミュニケーションを阻害することによって不自由にもしている。全世界的なコミュニケーションの道具として立案されたエスペラントは、人間解放の大きな実際の事業の一つである。すなわち、すべての人が各自の地域文化や言語的独自性にしっかりと根ざしていながらそれに制約されず、人類の共同体にその一員として参加することを可能にする事業なのである。

数ヶ国の民族語のみを使うことは自己表現やコミュニケーション、連帯の自由に対する障害となることが避けられないと、私たちは主張する。私たちの運動は人間の解放を目指すものである。